

まくせのやしろ
万九千社
たちむしじんじや
立虫神社

社報



神戸の郷

第六六号 令和元年秋「発行」

令和元年九月吉日

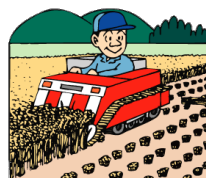
代宮家 (錦田)

今季の祭 立虫神社 秋祭り

今年も実りの秋を迎えました。
二日にわたって行われる秋祭りは、稲をはじめとする農作物が豊かに収穫できたこと、農業をはじめ、工業、商業など全ての産業が順調に運んでいること、日々平和に暮らしていけることなどを氏神さまに感謝するお祭りです。

氏子地域（神立・

千家）に住む全ての人々が心を合わせて奉仕する、一年で最も重要なお祭りでも、「大祭」と呼ばれています。



なお、神さまと神社の側から言えば、縁あって併川地区（神立・千家）に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。

どなたでも遠慮なくお参りいただき、神さまに感謝と祈りを捧げましょう。

十月五日（土）

一、子禱神事

一、氏子入り奉告祭

午後三時より

平成三〇年の八月一日から今年七

月三十一日頃までに誕生された神立千家の子供さんとその家族がそろって参拝し、皆の健やかな成長をお祈りします。また、昨年の秋祭り以後、この地に住まいされ、新たに氏子への仲間入りをされた皆様にも御昇殿いただきます。

※当該の方は、礼を失しない平服（背広ネクタイ等）にて、時刻までに拝殿に御参集下さい。

一、前夜祭

・深津一統祭 午後六時より

・竹内一統祭 午後七時より

立虫神社へ合祀された千家の客神社にゆかり深い氏子の竹内一統、古くから万九千社にゆかりある神立の深津一統が神社に参集します。

大祭前夜にあたり、一族挙げて感謝と祈りのまごころを捧げ、楽しい直会（なおらい）を行います。

十月六日(日)

一、大祭 祭典

(兼) 役員・総代
就任奉告祭

午前九時より

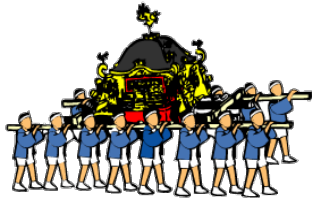
秋祭りでも重要な祭典です。宮司以下の神主・氏子代表が昇殿し、古式に則って厳かに御奉仕します。御神前にたくさんのお供え物をして、氏神さまをおもてなし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちを伝え、人々の幸を祈ります。

※お供え、お米当番の方は、午前七時半から九時まで、神社へお供えのうえ御参拝下さい。

一、御神幸
と
禱練り神事

千家第一公民館にてお祭りの後、午後一時頃、神社へ向けて御神輿を中心とする行列が出発。午後五時頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、神立千家の地にお出ましになります。皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。



練り歩く行列の先導役は、悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して走り回る番内さん。

ん。幸多かれと御神酒をふるまう茶立姫。無病息災を祈願し、恐い顔でゆつくりと進む御獅子。皆おなじみの顔触れです。

主役の氏神さまは、神和会、千親会の会員をはじめ、小学校一年生が心を込めておひきする御神輿にのって進まれます。今年、南回りの順路。夕方、神社へ到着すると、氏神さまの御霊は本殿へとお還りになり、御獅子の拝が行われます。



一、神楽奉納

午後一時半頃より夕刻まで奉納予定は次のとおりです。

記

・午後一時半頃～ 出雲神楽

万九千社立虫神社神代神楽社中
同 子供神楽（小学生有志）

・午後三時二〇分頃～御神楽

『浦安の舞（うらやすのまい）』
神立千家氏子小学生女子有志

・午後四時頃～ 保育園の神楽

『すさのおの命のやまたのおろち退治』
あい川保育園社中

・午後五時頃～ 出雲神楽

『八戸（やと）』 ※八岐大蛇退治
万九千社立虫神社神代神楽社中



一、餅撒き等

午後五時半頃より日没まで

●餅まき

●神事花倒しとその争奪、
授与

ご多忙な氏子さんには、ぜひこの夕方、三時頃から御社頭に参拝なさるのがよろしいかと思えます。

大切なお知らせ

その一

「宗教法人立虫神社責任役員、
氏子総代の交代について」

去る令和元年八月十二日、任期満了に伴います責任役員〔定員五名、うち一人は代表役員（宮司）〕、神社総代〔定員十二名、任期三年〕の交代がありましたの

でお知らせします。（以下、敬称略）

○退任責任役員・総代○

遠藤善夫 神立三

（平成28年8月～令和元年8月、責任役員兼総代）

黒川 明 神立四

（平成28年8月～令和元年8月）

影山 朗 神立乙

（平成28年8月～令和元年8月）

竹内保徳 千家四

（平成28年8月～令和元年8月）

◆新体制◆

総代長

矢野幹雄（責任役員） 千家二

副総代長

山根陽一（責任役員） 神立一

会計担当総代

竹内房雄（責任役員） 千家三

総代

矢野俊之（責任役員）

湯原 稔 神立二

妹尾富夫 神立三

今川宏樹 神立四

松原昭二 神立五

神立乙

小田川淳 千家一
 坪倉良治 千家二
 竹内浩二 千家三
 伊藤 武 千家四

退任者の方には、昨年十一月十一日に竣功奉告祭をお仕えしました立虫神社幣殿拝殿改築工事・境内整備事業の完遂に向けて、長きにわたり神社の護持運営にひとかたならぬ御尽力を賜りました。あつく御礼申し上げます。

また、御退任にあたり、四名の前総代から、それぞれ多額の御浄財を御奉納いただきましたこと重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

新たに就任なさいました皆様には、矢野幹雄総代長のもと新体制にて、神々と神職と氏子との、そして祖先と子孫との「仲取り持ち」として格別の御奉仕をよろしくお願い申し上げます。

当社は現在、神社周辺の宅地開発

に伴う社頭景観の護持、鎮守の森づくり、昭和63年以来据え置かれた神社維持費の値上げなど、これまで先送りしてきた数多くの懸案事項を抱えています。これから神職・役員・総代が一致団結し、まごころ込めて率先奉仕して参ります。氏子各位の変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

その二

「天皇陛下御即位大典 奉祝事業 神社境内地の国旗・のぼり旗 掲揚塔の全改築について」

去る令和元年五月一日、天皇陛下におかれましては恙なく踐祚遊ばされ、元号も改まりました。

今年には天皇陛下の御即位大典の嘉節に当たり、来る一〇月二二日には即位礼正殿の儀が盛大に執り行われます。

そして、一月一四、一五日には、御即位後にはじめて行われる一世一代の大規模な新嘗祭、大嘗祭を御自

ら「国安かれ、民安かれ」の大御心で御奉仕なさいます。

この記念すべき年にあたり、当社では氏子一同、奉祝の誠を捧げ、令和の御代が日々浦安く、弥栄でありますようにと祈念致しまして、老朽化のため損傷の恐れが生まれました御社頭の国旗・のぼり旗掲揚塔を全改築する事にしました。

責任役員会・総代会での議決を経まして、これに要する経費は、神社維持特別会計と氏子有志の特別寄附金を充当します。おかげさまで秋祭り前には竣功する運びとなりました。御厚志を賜りました氏子各位に心より感謝申し上げます。

《あながき》

「令和」最初の大祭…当社の子供神楽社中も初舞台です！▼好天に恵まれ、素晴らしい秋祭りとなりますように…。



(文責 宮司 錦田剛志)